

倶多楽火山

○化学組成から推定された深部熱水系の地化学温度

推定温度のバラツキの小さい2008年5月から2009年9月にかけて、ほぼ一定の間隔で噴騰活動が繰り返されていた(図2)。その後、やや規模の大きな噴騰が繰り返された7月から9月以降、推定温度のバラツキが大きくなったが、2008年5月から始まる推定温度の低下傾向の延長線上にあると見ることが出来る反面、上昇傾向にあるとも言え、注目される。

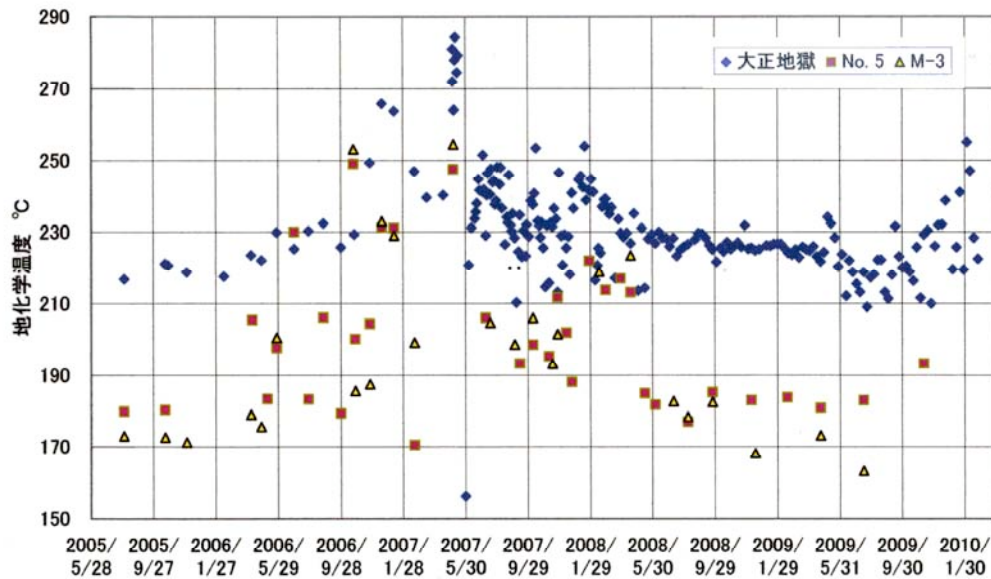


図1. 大正地獄の熱水化学組成から推定される深部熱水温度の時間変化

○大正地獄の熱水温度と休止期間

2010年2月以降、4日前後の休止期をもって噴騰活動を繰り返していたが、4月末から長い休止期を挟んで、短い休止期で噴騰が繰り返されるようになった。

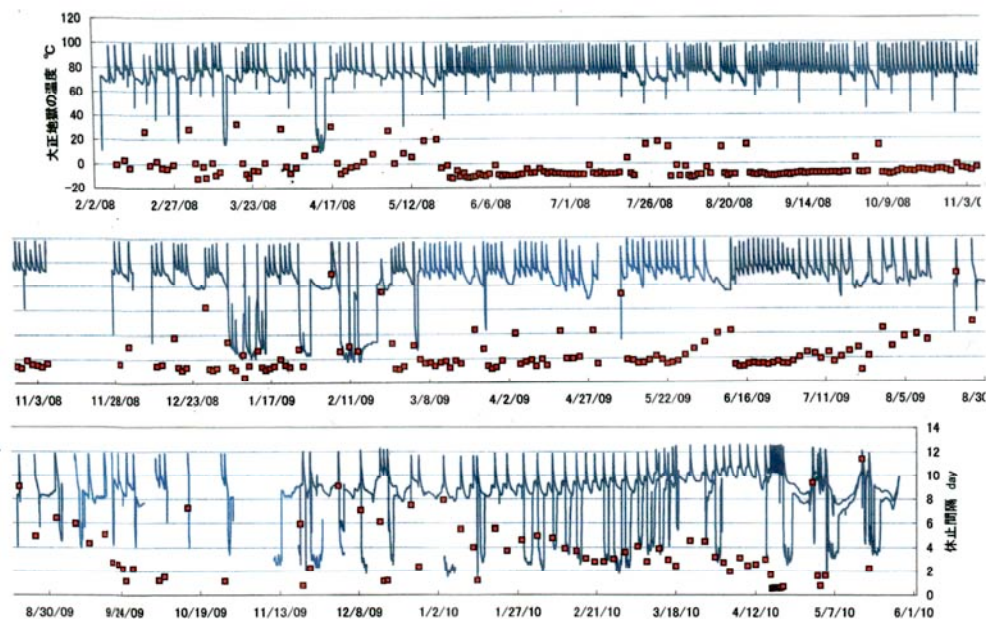


図2. 大正地獄の熱水温度と休止期間の時間変化. 2009年12月中旬以降、沼底と満水面から約3m深の2ヶ所に温度計を設置.

(安孫子・大島)

倶多楽火山